

令和7年10月9日

福知山市議会議長 様

会 派 名 無所属・維新議員団

代表者名 塩見 聡

政 務 活 動 費 実 績 報 告 書

令和7年4月1日付け 福議第335号により交付決定のあった政務活動費において、7年度上半期（4月から9月）の政務活動が完了したので、福知山市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第2項及び第3項の規定により、下記のとおり実績報告書を提出します。

記

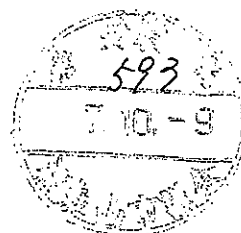
1 令和7年度政務活動費の額（上半期） 36,550 円

2 政務活動費の対象となる経費の内訳

項 目	金額（上半期）	主な支出内容
調査研究費	11,550	タブレット端末通信費
研 修 費	25,000	オンラインセミナー代
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
人 件 費		
事務所費		
合 計	36,550	

添付書類

- ・ 政務活動の実施状況及び成果を確認できる書類
- ・ 政務活動費の収入額及びその内容に関する書類
- ・ 政務活動費の支出額及びその使途に関する書類
- ・ 政務活動費の支出に係る領収書の原本又はこれに準ずる書類



支出科目： 調査研究費
合計金額： 11,550 円

タブレット端末通償費、令和7年度上半期会派負担分

納入通知書兼領収書

口座番号 01090-7-960071 加入者名 福知山市会計管理者

令和7年度 呼出番号 00487054

納付者 福知山市字内記13番地の1

無所属・維新議員団 様

タブレット端末通信費議員負担金（会派請求分）
令和7年度上半期分

納付金額 11,550円

納入期限 令和 7年 9月 30日

所属 010100 議会事務局

会計 01 一般会計

款 22 諸収入

項 04 雑入

目 03 雑入

節 01 雑入

細節 60 その他の雑入

細々節 15 タブレット端末通信料議員負担金

上記のとおり納付してください。

令和 年 月 日

福知山市長

大橋 一夫

上記のとおり領収しました。

京都府福知山市 市町村コード 262013

領収日付印



(納付者保管)

納 め る と こ ろ

福知山市役所会計室及び各支所出納窓口

京都銀行 本店・支店

京都北都信用金庫 本店・支店

京都丹の国農業協同組合 本店・支店

近畿労働金庫 福知山支店

但馬銀行 福知山支店

但馬信用金庫 福知山支店

福知山市内の京都農業協同組合

福知山市内の中兵庫信用金庫

近畿2府4県の郵便局（大阪府、京都府、

兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）

元調定伝票番号 07-010070



00487054

タブレット端末使用状況表

(令和7年4月1日～令和7年9月30日)

会派名：無所属・維新議員団

使用日	主な使用目的	使用内容
4月8日	会派内協議	議会情報共有
4月10日	会派内協議	議会情報共有
4月17日	会派内協議	予算審査対応協議
4月25日	会派内協議	議会情報共有
5月7日	会派内協議	議会情報共有
5月13日	会派内協議	本会議内容協議
5月14日	会派内協議	議会情報共有
6月16日	会派内協議	議会情報共有
6月25日	会派内協議	議会情報共有
7月17日	会派内協議	議員報酬対応相談
7月28日	会派内協議	議員報酬対応相談
8月4日	会派内協議	議会情報共有
8月26日	会派内協議	本会議内容協議
8月27日	会派内協議	本会議内容協議
8月28日	会派内協議	本会議内容協議
8月29日	会派内協議	本会議内容協議
9月1日	会派内協議	決算内容協議
9月2日	会派内協議	決算内容協議
9月3日	会派内協議	決算内容協議
9月18日	会派内協議	議員報酬対応相談

(様式1)

令和7年 8月20日提出

福知山市議会

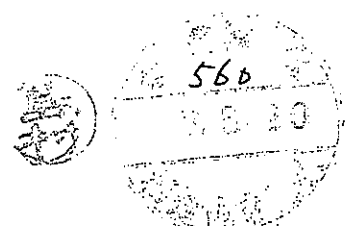
議長 吉見 茂久 様

会 派 名 無所属・維新議員団

代表者名 塩見 聡

政務活動費研究研修視察報告書

- 1 視察・研修年月日 令和7年8月19日(火)
- 2 視察研修先 オンライン研修(福知山市庁舎5階第2委員会室)
- 3 参加者氏名 塩見 聡 以上 1名
- 4 経 費 合計 25,000円(25,000円/1人あたり)
- 5 研修項目 講師 廣瀬 和彦
(株)廣瀬行政研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事
 - (1) 適正な議員定数の算定手法を考える
 - ① 議員定数と人口減少
 - ② 議員定数の推移と議員報酬との関係性
 - ③ 投票率低下となりて不足
 - ④ アンケートから見る議員定数への住民の意識
 - ⑤ 議会の権能と議員定数
 - ⑥ 6つの議員定数算定手法
 - (2) 適正な議員報酬の算定手法を考える
 - ① 議員報酬と給与の違い
 - ② 議員報酬の対象となる活動
 - ③ 議員報酬の現状と議員の位置づけ
 - ④ 議員報酬における減額措置
 - ⑤ 費用弁償・政務活動費との関連
 - ⑥ 7つの議員報酬算定手法目
- 6 添付資料 視察研修行程表・写真・資料(別添のとおり)
- 7 経費精算書 (別添のとおり)



政務活動費研究研修視察報告書 (会派名 無所属・維新議員団)

令和7年8月19日(火) オンライン研修(福知山市庁舎5階第2委員会室)

参加者氏名 塩見 聡

研修項目 議員定数・議員報酬の適切な算定手法

講師 廣瀬 和彦

(株)廣瀬行政研究所代表取締役・元全国市議会議長会法制参事

1 適正な議員定数の算定手法を考える

【報告・所感】

今回の研修を通じて、福知山市議会においても、議会が市民から見て「機能している」と評価されているか、真剣に考える機会となりました。現状、議員が1人少ない状態でも問題がないという事実がある中、このままでは市民から「もっと議員を減らしてもいい」と思われて当然です。

議会改革を進めても市民にはその努力が見えにくく、評価されていないという現状も課題です。私は、ランキングを追い求めるのではなく、市民にとって「見える議会」「求める議会」にしていくことが必要だと強く感じます。

また、安易な議員定数削減は、単なる財政難対策に終わってしまいかねません。むしろ議員一人ひとりの能力を高め、より大きな無駄な予算を削減するといった、議員本来の力を発揮すべきです。最後に議員間の議会への取り組みに大きな差がある現状を鑑みれば、議員報酬の大幅増と合わせて議員個人のパフォーマンスを上げていくべきであり、そのためにも議員定数を減らすべきだと考えます。

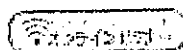
2 適正な議員報酬の算定手法を考える

【報告・所感】

今回の研修を通じて、福知山市で議員報酬に関する市民アンケートを実施する際には、慎重な検討が必要だと感じました。ネットなどによる無差別なアンケートではなく、市民向けの公聴会などを開催し、議員は、4年という限られた任期で、年金や退職金もなく、選挙には多額の費用がかかります。その結果、住宅ローンを含むことさえ難しいという現実や、議会活動や地域活動で意外と多忙だという姿を知ってもらってから、意見やアンケートを記入してもらうべきではないでしょうか。

最後に私は、私自身のような現職議員よりも、もっと優秀な若い世代が将来の不安なく議員を目指せる環境を整えるべきだと強く感じています。そのために、議員報酬を現在の水準から大幅に引き上げ、現在の仕事を差し置いても福知山市の未来をつくるんだという強い想いを持つ人材が、安心して参入でき専念できるような報酬、具体的には月額60万を超えるくらいの水準が必要と考えます。ただし、市民の理解を得るためには、議員定数を減らし、議会全体の予算を現状以下に抑え市民の理解を得る仕組みで進めることが大前提だと考えています。

市民アンケートを取るならば工夫が必要であるが、以前より個々の議員活動は見えていと思うので、一概に増やすことへの反感は減っているように思う。しかし現在の議会費の予算内での編成、すなわち議員定数を減らす事とセットで行う必要がある。



8月19日(火) in 京都

1. 議員報酬と給与の違い
2. 議員報酬の対象となる活動
3. 議員報酬の現状と議員の
位置づけ
4. 議員報酬における減額措置
5. 費用弁償・政務活動費
との関連
6. 7つの議員報酬等に関する法



1. 凡在本校就读之学生，其成绩优良者，得由本校推荐，参加本系之学术竞赛。

(単位：円)

月 日	支出項目	支出額	領収書No.
6月27日	研修費	25,000円	
支出合計額		25,000円	

支出科目： 研修費
合計金額： 25,000 円

オンラインセミナー代

領収証

No. _____

無所属・維新議員団 塩見 聡 様

令和7年6月27日

金額

¥25,000

但 8月19日セミナー(オンライン)午前・午後受講料として
上記正に領収いたしました

内

消費税等

現金

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 廣瀬行政研

係